

IWAKI IR

株主の皆様へ
第79期 中間報告書
2017年12月1日▶2018年5月31日

Report

P 1 ▶ ごあいさつ

代表取締役社長 岩城 慶太郎

▶ 営業概況のご報告

P 3 ▶ セグメント別の概況

P 5 ▶ イワキグループ拠点のご紹介 vol.1
タイ

P 7 ▶ 上半期連結決算ハイライト

P 8 ▶ 第7回株主様アンケート 集計結果のご報告

P 9 ▶ 小さな社会貢献活動への取り組み

P 10 ▶ 会社概要・株式情報

裏表紙 ▶ ホームページ紹介

詳細なIR情報の入手には当社IRサイトをご活用ください

イワキIR

検索

<https://www.iwaki-kk.co.jp/ir.html>



イワキ株式会社

証券コード：8095



イワキ株式会社
代表取締役社長

岩城 慶太郎

今般の豪雨災害でお亡くなりになられた方々に哀悼の意を表します。また、不幸にも被災された皆さまに心からお見舞いを申し上げます。

株主の皆様におかれましては、平素より当社グループ事業へのご理解とともに厚いご支援を賜り、誠にありがとうございます。

ここに当社第79期第2四半期累計期間（2017年12月1日から2018年5月31日まで）における営業状況のご報告と通期業績の見通しをお伝えし、3か年中期経営計画についてご説明させていただきます。ご一読の上、さらなる飛躍を目指す当社グループに引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

2018年8月

表紙写真

グループ会社 アプロス社のシルキーカバーオイルブロックがモンドセレクション5年連続金賞を受賞いたしました。2018年の授賞式の舞台となったのはスペイン(パレンシア)。ヨーロッパの歴史ある建物とは趣が異なる科学教育と芸術のための複合施設にて開催されました。



営業概況のご報告

第2四半期までの営業状況

すべての事業セグメントにおいて増収

期初の業績予想を上回る成果を達成

第2四半期までの営業状況は、すべての事業セグメントにおいて増収を確保するとともに、利益面もHBC事業と化学品事業を中心に改善が進んだことから、期初の予想を大幅に上回る成果となりました。

事業セグメント別に振り返りますと、医薬・FC事業は、医薬品原料分野において、一般用医薬品向けの解熱鎮痛剤やビタミン剤の原料、米国向け主体の血管収縮剤原料が好調に推移し、医薬品分野においても、抗真菌剤や副腎皮質ホルモン剤など主力製品が伸長したことなどにより、売上高はプラス成長を維持しました。しかし営業利益は、原価の上昇や薬価改定の影響を受け、減益となりました。

HBC事業は、通販化粧品分野の販売実績が前年同期並みにとどまりましたが、市場における機能性表示食品の伸びやインバウンド需要の拡大などを受け、機能性食品及び化粧品原料分野が堅調に推移し、一般用医薬品を主体とした卸売分野も販売を大きく伸ばしました。そのため当事業全体では、大幅な増収・増益を果たすことができました。

化学品事業は、表面処理薬品分野において、想定していた海外の大型新規販売が遅延する中、営業人材の拡充により固定費が増加し、損失が発生しました。しかし表面処理設備分野において、利益率の高い部品・メンテナンス販売に注力したことなどにより、当事業全体では、売上高のプラス成長を維持し、損失の改善を遂げました。

食品事業は、食品原料分野における新規受注の獲得、既存原料の販売増加、健康志向食品向け原料の伸長などにより増収となりましたが、利益面では損失を計上しました。

以上により上期の連結業績は、売上高290億2千4百万円（前年同期比3.5%増）、営業利益8億5千7百万円（同3.7%増）、経常利益9億1千万円（同0.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益6億1千7百万円（同28.8%減）となりました。なお、親会社株主に帰属する四半期純利益の減少は、前年同期において計上した投資有価証券売却益等の反動によるものです。

中期経営計画と通期業績予想について

当期からの3か年計画として再策定

2020年11月期も営業最高益の更新を目指す

2016年11月期より始動した3か年中期経営計画は、計画期間を1年間ローリング*し、当期からの3か年計画とする再策定を2018年1月に実施しました。これに伴い業績目標については、2020年11月期の連結業績における「売上高650億円」「営業利益21億円」「ROIC（投下資本利益率）7.0%以上」を新たに掲げました。

当期の連結業績は、売上高590億円（前期比2.8%増）、営業利益16億円（同1.8%増）、経常利益17億2千万円（同3.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益11億8千万円（同5.0%減）を予想しています。上期の好調を反映し、期初の予想から上方修正しましたが、医薬・FC事業における薬価改定の影響を見込み、またグループ事業全体の領域拡大に向けた積極投資を予定しているため、堅実

な見方で想定しています。

通期の業績については、前期に続いて2年連続で創業以来の営業最高益を更新する見通しです。中長期ビジョンの達成に向けて積極的な事業投資を推進しながら、2020年11月期における中期経営計画の目標数値もしっかりと達成してまいります。

*経営環境の変化等に柔軟に対応するため、毎期計画を見直し・改定する方式

株主の皆様へのメッセージ

安定的かつ業績連動性を持たせた配当に転換

利益還元を一層充実

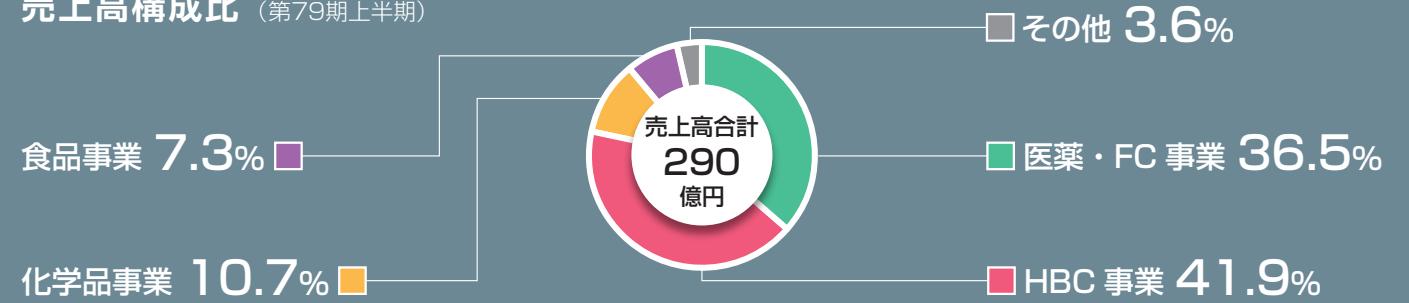
このたび当社は、株主の皆様への利益還元を一層充実すべく、従来の固定的な水準を維持した配当から、安定的かつ業績連動性を持たせた配当に転換し、「純資産配当率（DOE）1.5%を下限とし、配当性向 30%を目途とする」新たな方針を定めました。本方針に則り、今回の中間配当は当初の予定から増額し、1株当たり5円（前年比2円増配）とさせていただきます。期末配当は同5円50銭（前年比1円増配）を予定し、年間配当額は合わせて同10円50銭（前年比3円増配）となる見通しです。今後とも業績の向上に努め、さらなる配当の増額により、株主の皆様のご期待に応えてまいります。

当社グループは、創業111周年を迎える2025年11月期へ向けて、中長期ビジョン「Vision “i-111”（アイ-トリプルワン）」を策定し、売上高1,000億円企業の実現を目指しています。その第一段階となる3か年中期経営計画を着実に遂行し、成長を加速していく所存ですので、引き続き長期のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

セグメント別の概況

お取引先様の課題解決に向けた様々なニーズに当社グループのあらゆる機能で応える「策揃え」を実現し、変革スピードを向上させるため、プロダクト毎のバリューチェーンに従って医薬・FC (Fine Chemical) 事業、HBC (Health & Beauty Care) 事業、化学品事業、食品事業の4つの事業を展開しています。

売上高構成比 (第79期上半期)



医薬・FC事業

※FC=Fine Chemical

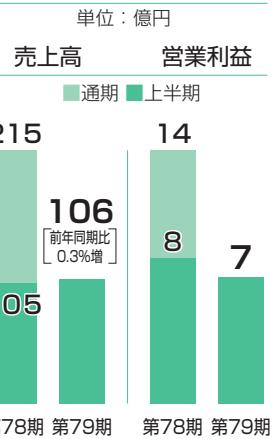
イワキ株式会社
岩城製薬株式会社

● 事業内容

医薬品原料・医薬品の開発・製造から販売、また臨床検査薬などの販売も行っています。



○ 業績推移 ○



● 当期のポイント

医薬品原料分野では、一般用医薬品向けの解熱鎮痛剤とビタミン剤の原料や、米国向けの血管収縮剤原料が大幅に伸長。

医薬品分野では医療用医薬品の外皮用剤が全般的に好調に推移。特に抗真菌剤や副腎皮質ホルモン剤など主力製品が伸長。

HBC事業

※HBC=Health & Beauty Care

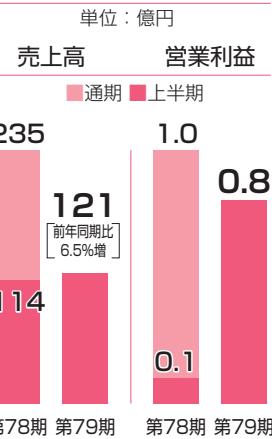
イワキ株式会社
APROS

● 事業内容

一般用医薬品、化粧品原料・機能性食品原料の販売、化粧品の通信販売及びOEMなどを行っています。



○ 業績推移 ○



● 当期のポイント

機能性食品原料及び化粧品原料分野は、全体で堅調に推移。

一般用医薬品を主体とした卸売分野では、インバウンド需要と海外向け販売の好影響などにより伸長。

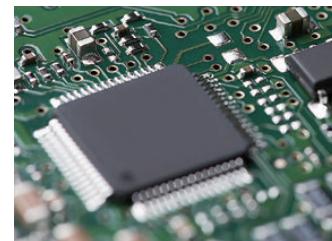
通販化粧品分野は、広告宣伝・販売促進の効率的な運用により、堅調に推移。

化学品事業

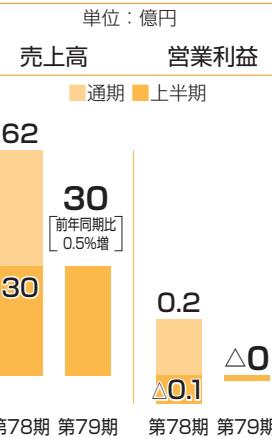
Meltex

● 事業内容

表面処理薬品の製造・販売、化学品原料などの販売を行っています。



○ 業績推移 ○



● 当期のポイント

表面処理薬品分野では、国内外ともにプリント配線板関連の添加剤、国内を中心として半導体関連薬品の販売が伸長。

表面処理設備分野では、国内で計画していた装置受注が延期・中止になるなど厳しい状況のなか、堅調に推移。

食品事業

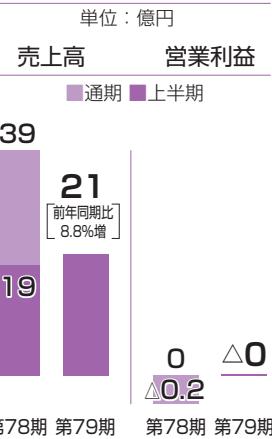
イワキ株式会社
ポーエン化成株式会社

● 事業内容

食品原料などの製造・販売を行っています。



○ 業績推移 ○

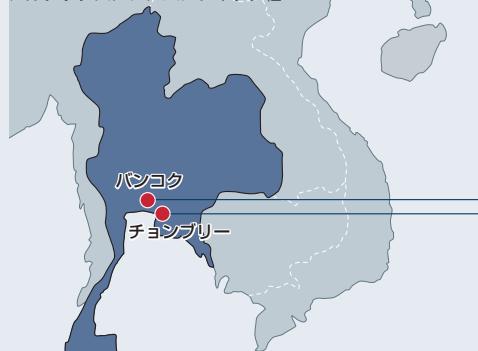


● 当期のポイント

食品原料分野は新規受注の獲得、既存原料の拡販活動による販売増加、健康志向食品向け原料伸長により、堅調に推移。



メルテックスアジアパシフィック社



メルテックスアジアタイランド社

メルテックスアジアパシフィック社

Meltex Asia Pacific Co., Ltd.

お客様に表面処理薬品や関連製品のご提案・販売及びアフターサービスをご提供している販売会社です。オフィスはバンコクにあり、タイ国内はもとよりフィリピン・シンガポール・ベトナム・マレーシア・インドネシアで活動しております。タイ人スタッフ8名、日本人スタッフ3名の合計11名が勤務しており、これからも東南アジアの発展と共に私達も成長してまいります。

会社概要

所在地	938 Soi Sukhumvit 101 (Punnawithi 28), Sukhumvit Road, Bangchak, Prakanong, Bangkok 10260, Thailand.
設立	2011年7月

メルテックスアジアタイランド社

Meltex Asia (Thailand) Co., Ltd.

表面処理薬品を約100t/月製造している海外拠点製造会社です。会社はバンコクから南東57kmのチョンブリー県アマタナコン工業団地にあり、タイ人スタッフ16名、日本人スタッフ1名の合計17名のスタッフが勤務しております。ここで生産した製品は、タイ国内はもとより東南アジア各国の他、日本・中国・韓国などに供給しております。今後、更に製造品目数を増やし、日本と同じ品質の表面処理薬品を各国にご提供してまいります。

会社概要

所在地	Amata Nakorn Industrial Estate Phase 8 700/831 Moo.6, Tambol Nongtumlueng, Amphur Phanthong, Chonburi 20160, Thailand.
設立	2013年9月

アジアにおける製造・営業拠点としてグローバルに製品・サービスを提供

タイにおける製品ニーズなどの市場環境

タイでは車やスマートフォンに搭載する部品に表面処理をしている日系メーカー、めっき業者が数多くございます。車の税優遇制度導入に伴い、2012年から自動車販売台数は大幅に増加しましたが、その反動で2014年、2015年と急減いたしました。しかし、近年は再びタイ自動車市場が成長軌道に乗り、2018年1~5月の累計販売台数*1は前年同期比18%増、生産台数も12%増となっております。自動車のエレクトロニクス化により、車1台に搭載される電子部品数も増加が見込まれており、車載部品への表面処理が更に増える予想されます。車載部品には厳しい品質が求められ、部品の品質・信頼性を尚一層上げられるような表面処理薬品が求められます。スマートフォンに搭載する基板・電子部品は、年々微細化・極小化が進み、極小部品めっきに合った表面処理薬品のニーズが高まっております。

*1タイ2018年1~5月の累計販売台数；出所：Toyota Motor Thailand

BOSE-UP

注力製品のご紹介

★『メルプレートSN-2680シリーズ』

チップ部品用すずめっき薬品

★『メルプレートPC-316、PC-6122』

プリント基板用表面処理の脱脂剤

同製品にて処理された基板や電子部品などは、車やスマートフォンなどに搭載されます。

●こんなところにメルテックス!



現地で働くスタッフに聞く！ タイってこんなところ

Q どのような仕事に携わっていますか？



Ms.Hiranya Khoomkhainum (Kaiさん)
メルテックス
アジアパシフィック社

私は営業部で営業技術支援担当をしています。営業スキルと技術の知識を駆使してお客様をサポートする仕事です。さらに商品の分析業務や危険な化学物質の研究なども行っています。私のチームは東南アジア太平洋地域のお客様を中心にサポートしています。仕事は大変ですが「すべてうまくいくし、素晴らしい結果になる!」と信じて日々頑張っています。

Q タイのおすすめスポットや人気グルメをおしえてください



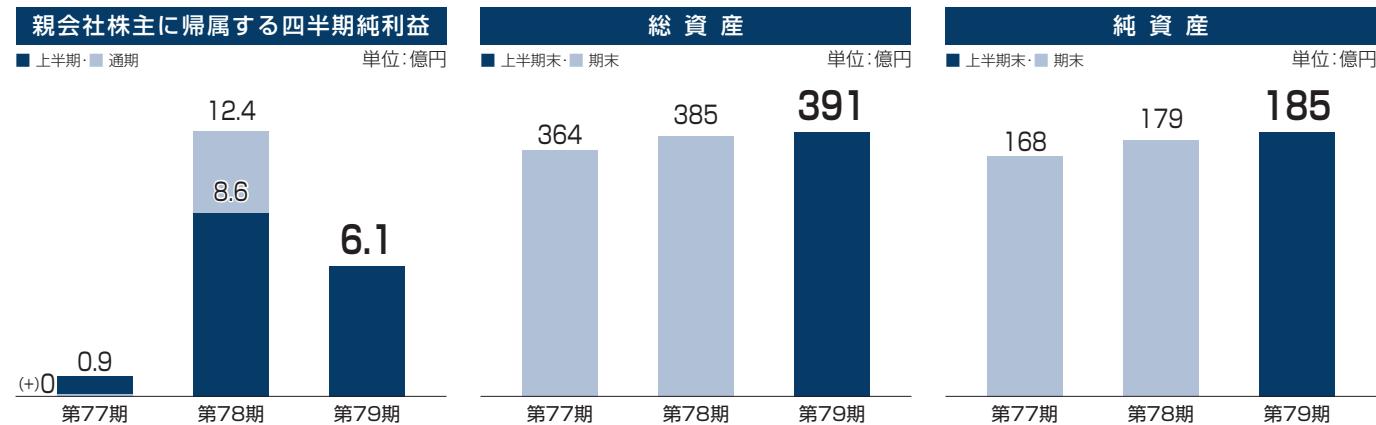
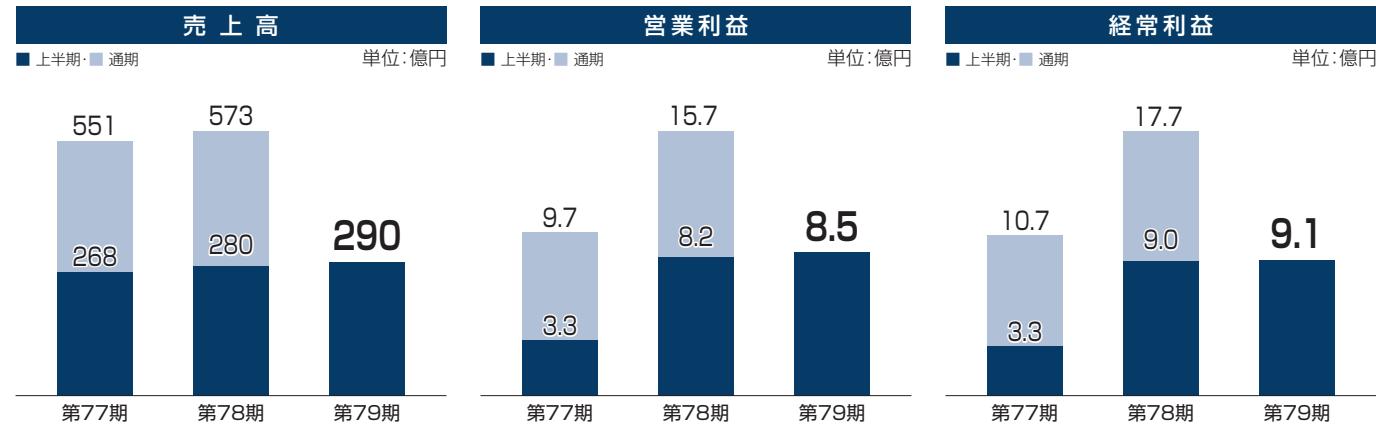
Ms.Jirapan Wangsubkept (Kwangさん)
メルテックス
アジアタイランド社

私のおすすめスポットはカオソック国立公園にあるチャオラン湖(ラチャプラバダム)です。綺麗な空気と自然の中に、澄んだエメラルドグリーンの湖を見ることができ、美しいのでおすすめです。グルメはタイ式焼肉MOO KA THA (ムーカタ)をおすすめします。とても美味しくて安いので地元では毎日食べられています。
※原文は英語となっています。

上半期連結決算ハイライト

売上高
営業利益
経常利益
親会社株主に帰属する四半期純利益

	第78期上半期	第79期上半期
売上高	280億円	290億円
営業利益	8.2億円	8.5億円
経常利益	9.0億円	9.1億円
親会社株主に帰属する四半期純利益	8.6億円	6.1億円



第7回株主様アンケート 集計結果のご報告

アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。その結果概要につきまして、ご報告させていただきます。

「IWAKI IR Report」(報告書) についての感想、当社に対し今後期待されること、その他ご意見・ご感想 (一部抜粋)

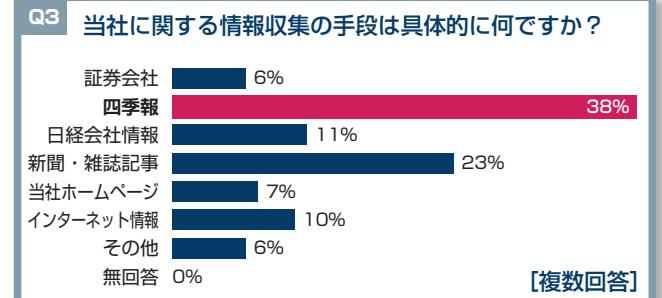
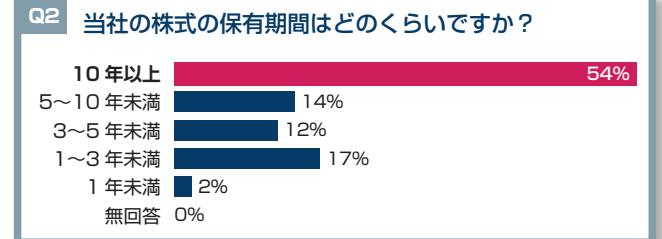
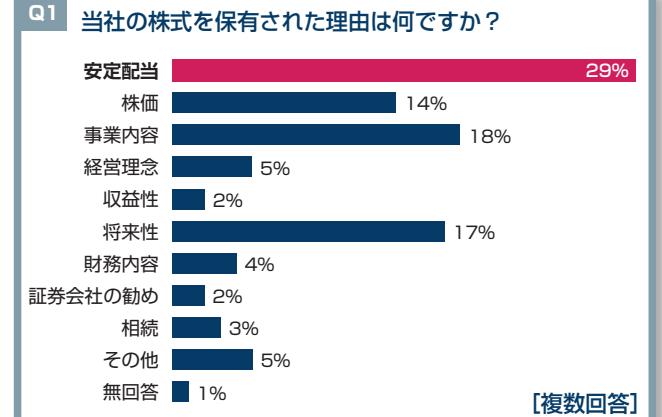
- 医薬品の製造力UPと開発を期待します。(60代)
- 海外進出はしても、国内・社内の人間を大切にしてください。(30代)
- 写真・グラフ・セグメント・年度比較等とても読みやすく、理解しやすいです。(50代)
- 株価上昇に期待したい。(20代)
- 化学品事業の営業利益が△4億円から0.2億円になったのは改善だと思いますが、もっと稼ぐことができるはずだと思います。(50代)
- 会長の経験を最大限に生かした社長の行動力に期待します。(70代以上)
- 歴史と技術の蓄積ある医薬・FC事業の一層の充実・拡充をはかってほしい。(70代以上)
- 最高益達成ありがとうございます。(50代)
- 見やすいが情報量が少なく思う。(40代)
- 新社長の議長は初めてでしたが大変良かった。今後とも大変期待しております。(70代以上)

これまで株主の皆様から様々なご意見を頂戴する中、今回の中間報告書では、イワキグループ拠点のご紹介を新たに追加いたしました。より多くの情報をお届けできるよう、これからも内容の充実にも努めてまいります。寄せられたご意見すべてを貴重な財産として、日々の経営やIR活動に生かしてまいりたいと存じますので今後とも引き続きよろしくお願いいたします。 IR担当スタッフ一同



株主様アンケート回答者

回答者数 **84名** (回収率=1.86%)



小さな社会貢献活動への取り組み



ゴミ拾いについて



2018年5月30日（ごみゼロの日）に東京都中央区と東京薬事協会の共催による「まちかどクリーンデー」に参加しました。イワキグループの社員がエリアごとに分かれ、道路や植え込みの清掃を行いました。

また同日にメルテックスの熊谷工場においても、工場周辺のごみ拾いをするごみゼロ運動を行いました。

メルテックスの営業部中部エリアでは、月に1回会社周辺清掃活動を行っています。



献血について



日本赤十字社ご協力のもと、イワキ本社とメルテックスの熊谷工場にて献血活動を実施しました。

今回も多くの社員が献血に協力しました。今後も継続して実施していきます。



3R活動について

メルテックスは毎年、エコスパイラル活動、別名「完全なる3R活動」を行っています。

自身の持ち物で使っていないものなどを社内にて販売・交換する活動です。

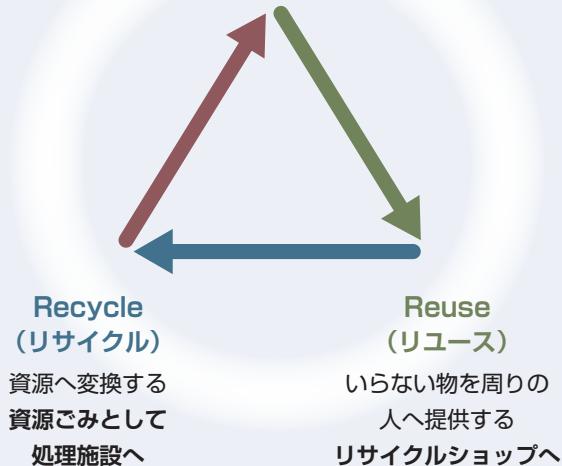
この売上げを使って、植樹などの環境貢献活動を行っています。

前は「彩の国みどり基金」へ寄付し、ソメイヨシノを植樹しました。

エコスパイラル活動

**Reduce
(リデュース)**

ゴミにしない努力をする
不要物を提供して頂き、
社内でバザーを開催



会社概要 (2018年5月31日現在)

会社概要

社名 イワキ株式会社
本社所在地 東京都中央区日本橋本町四丁目8番2号
創業 1914年(大正3年)7月10日
設立 1941年(昭和16年)9月20日
資本金 26億37百万円(東証1部上場)
社員数 (単体) 285名 (連結) 948名
主な事業内容 医薬・FC事業 HBC事業
化学品事業 食品事業

主な事業所 ・大阪支社 大阪府大阪市
所在地 ・富山支店 富山県富山市
・名古屋支店 愛知県名古屋市
・福岡支店 福岡県福岡市
主要取引銀行 三菱UFJ銀行、みずほ銀行、三井住友銀行

取締役および監査役

代表取締役会長 岩城 修	取締役 古橋 勝美
代表取締役社長 岩城 慶太郎	取締役 越智 大藏
常務取締役 藤田 久	取締役 川野 毅
常務取締役 大森 伸二	常勤監査役 山口 誠
常務取締役 今野 高章	常勤監査役 渡邊 弘行
取締役 熱海 正昭	監査役 吉田 孝
取締役 伊藤 龍雄	監査役 守山 淳

株主メモ

事業年度 毎年12月1日～翌年11月30日
期末配当金受領株主確定日 毎年11月30日
中間配当金受領株主確定日 毎年5月31日
定時株主総会 毎年2月
株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
同連絡先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話：0120-782-031 (フリーダイヤル)
上場証券取引所 東京証券取引所
公告の方法 電子公告により行う。
公告掲載URL <http://www.iwaki-kk.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意) 1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三井住友信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三井住友信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三井住友信託銀行)にお問合せください。なお、三井住友信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式情報 (2018年5月31日現在)

株式の状況

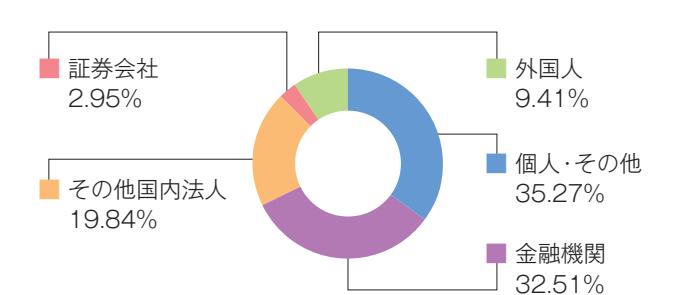
発行可能株式総数 136,000,000株
発行済株式の総数(自己株式909,228株を含む) 34,508,789株
株主数 4,522名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社ケーアイ社	3,771	11.22
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,408	10.14
株式会社三菱UFJ銀行	1,188	3.53
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,170	3.48
岩城 修	970	2.88
イワキ従業員持株会	879	2.61
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(役員報酬DIP信託口・76082口)	764	2.27
BNYM SA/NV FOR BNY GCM CLIENT ACCOUNTS M LSCB RD	667	1.98
株式会社大阪ソーダ	658	1.95
株式会社みずほ銀行	543	1.61

(注)持株比率は自己株式(909,228株)を控除して計算しております。

株式分布状況(所有者別分布状況)



(注) 小数点第2位まで記載(第3位以下は切り捨て)しております。
持株比率は自己株式(909,228株)を控除して計算しております。

イワキのホームページでは、様々な企業情報やIR情報をお届けしています。
どうぞお気軽にアクセス、ご利用ください！

スマートフォンでもご覧いただけます。

IWAKI & CO., LTD. » イワキ株式会社 » ENGLISH サイト内キーワード検索

ホーム | **IR情報** | 事業案内 | 関連会社一覧 | 会社案内 | 採用情報 | お問い合わせ

ここをクリック

IR情報 / IR Information 過去のIRニュース一覧 »

業績ハイライト → 財務レポート → 中長期ビジョン →

株式情報 → よくある質問 → 電子公告 → 現在の株価情報 →

イワキの歩み 次の100年に向けて

数字で見るイワキ イワキの基本データ

創業 100年以上 業績売上高 500億円以上

医薬・FC事業

みなさまへ「高度技術を駆使した医薬関連製品」をご紹介

■ FCE社、「Fine Chemical」の略称です。
医薬・FC事業では、薬工薬業について、医薬品原料・医薬品製造から開発までを行っています。また、関連企業へのさまざまなイノベーション型技術支援の提供を行っています。

取組品目

- ・ 製薬関連品目
- ・ 医薬原料
- ・ ビタミンD類
- ・ 5αの系

イワキ株式会社 医薬・FC事業へ >

新薬開発株式会社へ >

HBC事業

ヘルス＆ビューティーケアに関わる原料から製品まで幅広くご提供

■ HBCとは、「Health & Beauty Care」の略称です。
美容の分野を中心に化粧品原料、化粧品製造、化粧品開発、化粧品製造から開発まで提供しています。また、関連企業へのさまざまなイノベーション型技術支援の提供を行っています。

取組品目

- ・ 化粧品原料
- ・ 美容化粧品
- ・ アロマ系化粧品原料
- ・ アロマトリートメント

イワキ株式会社 HBC事業へ >

アロマ株式会社へ >

食品事業

「食」づくりのニーズに応える「価値」を提案

食品事業では、海外食品メーカー、関連会社であるポーション化食品原料メーカーを中心にご提案を行っています。
製菓食品メーカーは、製菓向けに提供されている菓子食品原料メーカーの製品を国内の食品メーカーと連携して開発をしています。
ポーション化食品原料メーカーは、製菓向けに提供されている菓子食品原料メーカーの製品に代わって、製菓原料をつみかさねる製造提供を行っています。
製菓原料の品質向上により、製菓メーカーの「食」づくりに関する「価値」をご提案します。

取組品目

- ・ 餅皮エキス
- ・ 製菓原料
- ・ トマトのエキス
- ・ 製菓用食品原料

イワキ株式会社 食品事業へ >

ポーション化食品原料へ >

化学品事業

きめ細かいサポート体制で多様なニーズにお応えする表面処理薬品メーカー

主に表面処理薬品を中心とした、化学品の開発・製造を行っています。国内の幅広いハードウェア製品に活用されています。

取組品目

- ・ プラント製薬関連品目
- ・ 電子部品関連品目
- ・ 一般化学関連品目
- ・ 半導体部品関連品目

メルテックス株式会社へ >

その他

当社グループは、その事業セグメント別に、製薬関連、製菓原料製造の提供も提供しています。

取組品目

- ・ 製菓原料
- ・ 電子部品フックタン
- ・ 製薬関連品目
- ・ 製薬ビタミン類

イワキ株式会社へ >

株式会社エス・エム・アイへ >

皆様方からのアクセスをお待ちしております！

<https://www.iwaki-kk.co.jp/>

▲ 各事業内容のご紹介は勿論のこと、当社事業の強みや特徴などについても詳しくご説明しています。



イワキ 株式会社

〒103-8403
東京都中央区日本橋本町四丁目8番2号
電話：03-3279-0481



環境保全のため、FSC®認証紙と植物油インキを使用して印刷しています。